

5年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	外ヶ岡交流拠点施設
住所地	下田市外ヶ岡1番地の1
指定管理者	
名称	一般社団法人 下田市観光協会
代表者	渡辺一彦
住所	下田市外ヶ岡1番地の1
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実施調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握。
担当課(問合せ先)	
	観光交流課 TEL: 0558-22-3913 E-mail: kankou@city.shimoda.lg.jp

■モニタリングの総合コメント 適切に対応し、イベント等の運営を再開まるごと下田館の改修等を行うことで収入の増加につなげるなど、適切な運営・維持管理を行うことができているが水道光熱費が昨年より増加傾向であるため、抑える策を検討する。
■今後の業務改善に向けた考え方 現在使用上に問題はないが、建物の老朽化が進んでいることにより、今後修繕や入れ替えが必要となるものが出てくる為、年度ごとに行う修繕を決め実施する。

基本運営の基本コンセプト
下田市の持つ開国の歴史をはじめとする歴史的資源や自然、文化、豊富な特産物を活用した観光プロモーションを展開し、市内に人が回遊する施策を推進し、観光客の増加を図る。
施設管理・経営管理計画
気温の上昇で、水高熱の使用料が多くなっているが、施設不良が水光熱費に直結する場合があるので早期発見できるよう対応をする。修繕計画についても市と協議し、必要があれば計画の見直しを行う。
維持管理計画
施設の設置から20年以上経過しており、設備の不具合も生じているが、市と連携しながら迅速に対応。また、大規模修繕については計画を立て実施している。
特記事項
特になし
自主事業計画
コロナ禍前の状態に戻りつつあり、昨年度に比べ来客数が増加し、収入の増加に繋がった。
収支計画
令和5年度においては水光熱費の高騰で支出が増加したが、自主事業収入も増加したため黒字となっている。
その他
特になし
経営管理
適切な計画・運営がなされているが、人件費の増加、及び当初に想定された光熱水費の増加により、支出が増加傾向。

※ これらの項目は、指定管理者を選定する際の審査項目となっています。したがって、仕様書等で指定管理者に要求している水準を確保できたかについて、指定管理者が作成した事業計画書と、実際の事業内容を比較して、コメントを記載します。具体的には、前項までのチェックリスト等を活用して確認した内容を基に、コメントします。